

1 会議名	平成 27 年 第 7 回教育委員会会議 会議録				
2 開催日時	平成 27 年 6 月 26 日 (金) 午後 3 時 00 分～午後 4 時 04 分				
3 開催場所	2 階 特別会議室				
4 出席委員	委員長 西村 宏 委 員 廣田 登志子、村尾 利勝、佐倉 弘之甫				
5 欠席委員	長重 百合				
6 会議出席者	教育次長 : 小田 修司 由宇支所長 : 吉田 勝光 玖珂支所長 : 室茂 康夫 周東支所長 : 山本 伸之 錦支所長 : 藤本 洋征 美和支所長 : 末弘 隆司 本郷山村留学センター所長 : 佐古 三代治 教育政策課長 : 藤本 玲子 学校教育課長 : 村川 直樹 青少年課長 教育センター所長兼務 : 榎本 丈二 文化財保護課長 : 青木 英子 生涯学習課長 中央公民館長兼務 : 山口 妙子 中央図書館長 : 桂 資展 科学センター館長 : 浜川 智也				
7 会議従事職員	教育政策課 : 村上 和枝、沖野 理恵				
8 会議録署名委員	村尾 利勝、佐倉 弘之甫				
9 議事日程					
日程第 1	会議録署名委員について				
日程第 2	報告第 6 号	所管事項について			
会議の大要					
西村委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、ただいまから平成 27 年第 7 回岩国市教育委員会会議を開会します。 初めに、日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。 本日の会議録署名委員は、佐倉委員と村尾委員にお願いします。 本日の議題は、「日程第 2 報告第 6 号 所管事項について」以上でございます。 それでは、「日程第 2 報告第 6 号 所管事項について」を議題といたします。 これについては協議会形式で進めたいと思います。 それでは、各担当部署からは、先に配布しております行事予定表について補足、所管事項において懸案等があれば、説明をお願いします。 				
玖珂支所長	<ul style="list-style-type: none"> ・行事予定の御案内ですが、7 月 8 日水曜日に「玖珂まち生涯大学講座」がございます。今回は「優しき勇者」ということで、元南陽工業高校野球部監督の坂本昌穂さんをお迎えして開催します。年会費 500 円で今後の講座も受講できますので、よろしければ、参加をお願いします。 				

周東支所長	<p>・5月 24 日には中田小学校と周北小学校、30 日にはそお小学校、31 日には高森、米川、修成小学校、6月 6 日には川上小学校で運動会が開催され、周東管内小学校の運動会が全て終了しました。教育委員の皆様にはお来しいただきました、誠にありがとうございました。地域の皆さんもたくさん参加され、どの小学校の運動会も趣向を凝らしたすばらしいものでした。</p>
美和支所長	<p>・5月 30 日に「美和B & G 海洋センター リニューアルオープン記念式典及び記念イベント」を実施しました。教育長にもプールで初泳ぎをして盛り上げていただきました。B & G 財団の方にもお来しいただき、市の活動状況を報告したところです。</p> <p>次に、美和で行われております「ノーテレビ・ノーゲームデーみわ週間」について御報告します。これは、「この週間中は、テレビを見るのもゲームをするのも 1 日 1 時間以内にしましょう」というものです。平成 27 年 5 月 22 日から美和町内の小中高生の保護者を対象に、平成 24 年 7 月に実施したのと同じ質問項目でアンケートを行い、実数と百分率で結果をまとめました。平成 24 年度のアンケートは回答者数 295 人で回答率 77 パーセント、今回は回答者数 280 人で回答率 78 パーセントと、ほぼ同じ率です。また、平成 24 年度は高校生が 45 パーセントであったものが、今回は 85 パーセントで、保護者が平均化されております。</p> <p>アンケート結果の年度間比較では、「テレビを見る時間やゲームをする時間が普段より短いか」という問い合わせに対して、「はい」「どちらか」というと『はい』と答えた割合が全般的に減少していますが、ルールを定めて取り組んでいる家庭では割合が増加しており、全体的な取組意識の薄れが見られる一方で、取組の効果が検証されました。</p> <p>「みわ週間」に取り組んだ者は、その時間を何にシフトしたのかということですが、「みわ週間」に取り組んだ家庭では、テレビやゲーム、スマートフォンを時間を決めて使用することで、有意義な時間を過ごせている様子がうかがえました。全体では、会話や読書への移行が多く、学習への移行は少ないようです。</p> <p>次に、「みわ週間」に取り組めなかった個々の理由は何かということですが、アンケート結果から推察しますと、児童生徒にテレビやゲーム、スマートフォンの過度の使用や依存の習慣化が見られ、児童生徒が「みわ週間」の意義を十分理解していない様子もうかがえました。また、「みわ週間」に対する保護者の関心も低くなっています。保護者においても「みわ週間」の意義や実施期間を十分理解していないことがあります、取組に積極的な家庭とそうでない家庭との二極化がうかがえました。高校では、美和地区以外の入学生も増えたことから、平成 27 年度から、年度当初に協力依頼の文書を</p>

学校教育課長

配布しておりますが、取組への参加を促すことが今後の課題となつております。

次に、取り組めなかつた者が取り組むためにはどうすればよいかということですが、児童生徒の意識を高めることが大切です。特に保護者の協力は不可欠ですので、協力依頼の場面を数多く設定し、実施期間や効果を周知することも必要と思われます。子供が小さいときは、保護者の教育に対する関心も高く、早期に「みわ週間」に取り組んだ家庭では持続することが多く、平素からの生活習慣も改善されているようです。地域全体が「美和の子供は美和で育てる」という意識の下で、地域の教育力向上の手立てとして取組の充実を図ろうと模索しているところです。

最後に、目標数値の設定についてですが、「みわ週間」の取組は生活習慣の確立を促すもので、数値を設定し効果を計ることは難しいため、現在、美和町全体での目標数値は定めておりません。また、保護者は「みわ週間」に対して多様な意見をお持ちです。多くの項目で細かい目標を定めるより、代表的な1つの目標を定め、目標達成のためにどんな手立てがあるかを各家庭や学校、クラスで工夫する方が主体的に取り組めると考えます。以上から、全員実行日の達成率を目標として定め、過去の実績データを基に算出した45パーセントを目標数値といたします。しかしながら、生活習慣の確立が目標ですから、全員実行日の達成率の上昇を図るだけではなく「みわ週間」に取り組まない児童生徒の固定化を防ぐことが重要と思われます。仮に達成率が80パーセントで、20パーセントの児童が毎月固定化して取り組まないと、達成率50パーセントでも、取り組む児童生徒が月ごとに入れ替わるとでは、後者の方が良いと思われます。そこで、今年度から中学校、高校では、より一層の生活習慣の確立を目指した形態にするため、生活の記録として、帰宅時刻、学習時間、就寝時刻等を記録し、集計等を各校で行っているところです。

・現在進めている事案について御報告します。昨年度、市PTA連合会の要望事項の中に学校の選択制ということがございまして、潜在的ニーズの把握など、4月から少しづつ取組を進めております。今後の流れとしましては、関係地区の自治会長と協議を進め、地域住民全員にアンケートをとって、集計結果を自治会長や小学校の校長先生等にお示しする。そして、その結果に基づいて基本的な方針案を作成し、自治会長や校長先生方と一緒にさらに検討を重ねて、基本方針を決定し、あわせて保護者や住民への説明会も実施していくことになろうかと思います。校区は今までどおりで、この辺りはどちらを選んでもいいというような選択地区を設ける場合は、合理的な基準を設けなければなりません。その辺りを今から検討して、基

青少年課長	<p>本の提案をしたいと考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月3日に岩国市青少年育成市民会議の総会を市民会館で行います。続いて報告でございますが、平成27年度の「岩国市いじめ防止対策連絡協議会」の委員9人が決まりました。来週6月29日月曜日に第1回の協議会を開催し、各機関において実施できる事項・できない事項の確認や情報共有の方法について協議する予定です。 <p>また、教育委員会の附属機関である「岩国市いじめ問題調査委員会」について、各機関から推薦をいただき、委員候補者がそろいましたので、次回の教育委員会会議で、議案として承認をいただきたいと考えております。</p>
生涯学習課長	<ul style="list-style-type: none"> ・7月1日に「世界スカウトジャンボリー 岩国地域プログラム 岩国PRイラスト表彰式」を行います。ジャンボリーに関しましては、現在、応援職員約100人と通訳ボランティア約100人が、ほぼ固まりまして、個々のプログラムの打合せをしている状況です。 <p>また、前回の教育委員会会議の際に、地域教育ネットについての説明が少し足りないのではないかという御意見がありましたので、少し説明させていただきます。</p> <p>各学校では学校運営協議会を設置して、コミュニティ・スクールとして地域の方々の参画による「地域とともにある学校づくり」を進められております。しかしながら、子供たちの生きる力は個々の学校だけで育まれるものではなく、学校以外にも子供たちの学びや育ちの場が数多くあることから、学校が持つ地域づくりへの力にも期待が寄せられております。そこで、総合的な体制づくりが求められ、学校の取組を支え、家庭や地域における子供の育ちや学びを支援する仕組みとして、地域教育ネットが推進され、「学校とともにある地域づくり」を目指し、進めることとなりました。</p> <p>この地域教育ネットという仕組みは、山口県独自の取組ですが、中学校区をひとまとまりにし、コミュニティ・スクールや公民館、幼稚園、保育所、高等学校など校区内に存在する様々な教育関係機関や団体等をつなぎ合わせ、幼児期から中学校卒業程度までの15年間の育ちや学びを見守り、支援する仕組みであり、推進母体は、地域教育ネット協議会となります。</p> <p>岩国市におきましては、全中学校15校区は、既に地域教育ネット協議会が設置され、それぞれの地域において特色ある取組が展開されております。川下中学校区地域教育ネットや美和町地域教育ネットの実践事例を御覧いただければ、地域教育ネットへの理解が一層深まるかと思います。</p> <p>現在、山口県教育委員会では、コミュニティ・スクールと地域教育ネットを一体的に推進する取組「山口型地域連携教育」の推進を県</p>

	<p>の重点施策の一つとして掲げております。本市におきましては、中学校に学校運営協議会が設置され、中学校の学校運営協議会が核となって、地域教育ネット協議会が立ち上げられ、地域教育ネット協議会との連携を図りながら、小学校に学校運営協議会が設置されるというような流れであります。「岩国の子供を岩国の大人が責任をもって育てる仕組み」の具体的な姿が地域教育ネットやコミュニティ・スクールにあると思いますが、今後も、学校、家庭、地域の連携を図り、「学校とともにある地域づくり」を推進してまいります。</p>
文化財保護課長	<ul style="list-style-type: none"> 4月26日から6月28日まで、岩国市と鳥取市の姉妹都市提携20周年記念事業として、市民協働推進課都市交流室との連携事業ということで「吉川経家と鳥取城の攻防」という企画展を実施しました。企画展のパンフレットもよくできていると好評価をいただいています。また、観光振興課と連携した幕末150年に向けての事業の一環で冊子を発行しておりますが、その中で東澤瀉を取り上げるなど、歴史的人物の検証にも取り組んでいるところです。
中央図書管館長	<p>夏休み「岩国のシロヘビ」親子教室につきましては、7月1日号の市報で例年どおり募集いたしまして、7月21日に開催する予定です。議会の一般質問でも文化財に関する御質問をいただきましたが、文化財を活用した地域づくりに取り組んでまいりたいと考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月11日土曜日におはなし会がございます。由宇図書館では、昨年12月に初めておはなし会を司書職員が実施しましたが、今年度は4月から毎月おはなし会を実施しています。
科学センター館長	<p>7月25日、30日には「夏休みこども司書体験講座」がございます。いずれの日も10人程度で予約が必要ですが、小学校3年生から6年生までを対象に、カウンターでの貸出しなどの司書体験をしていただくよう考えており、各方面に宣伝しているところです。</p> <p>7月26日の「こども点字教室」は、小中学生対象で、夏休み期間中に20人程度募集いたします。</p> <p>また、6月6日から中央図書館の講座室で、高齢障害課が「点訳奉仕員養成講習会」を実施しておりますが、昨年に比べて人数がかなり減っているようです。高齢者のための読書の支援機器を8月30日まで展示しておりますので、この機会に一般の方にも視聴覚機器に対する関心を持っていただきたいと考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月15日にスズムシの無料配布を行います。市民の方からスズムシの幼虫、ふ化したてのものをたくさん御提供いただきまして、配布までの間、育成が大変な状況ですが、何とか無事に配りたいと考えています。 <p>8月9日には、由宇ふれあいパークで「青少年のための科学の祭典」</p>

	<p>を行います。今後、学校にも参加を呼びかけてまいりますので、よろしくお願ひします。</p>
教育政策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・玖珂小学校の工事スケジュールの地元説明会を、7月1日午後7時から玖珂で行う予定です。
西村委員長 村尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全体を通して御質問や御意見がありましたらお願ひいたします。 ・美和支所長から説明がございましたが、ノーテレビ・ノーゲームデーの実態についてよく分かりました。徐々に意識が薄れてきている状況ということですね。取組を始めた当初は、学力向上といいますか、家庭での学習習慣を身に着けるということを中心に考えていました。各学校で学力向上プログラムが充実し、家庭学習の充実や学力向上に取り組む機運が広がる中、「小・中・高一緒になってどのように取り組んでいくか」ということで、事業を展開されたのでしょう。意識が落ちてきている点については、アンケートだけに頼るのではなく、学校側が取組の趣旨や実態を子供たちに伝えて、この積み重ねにより家庭学習が充実するということを、改めて説明する必要があると思います。また、高校生は、自分のことは自分で責任をとるという時期ですから、運営が難しいのではないでしょうか。その辺りも踏まえて、校長会等の際に、積み重ねの大切さを再認識していただき、子供たちにとって実りのあるノーテレビ・ノーゲームデーとなるように御指導いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
美和支所長	<ul style="list-style-type: none"> ・先日、校長先生方と御一緒する会議の中で、ノーテレビ・ノーゲームデーの話が出ましたが、それぞれの立場で取り組んでいくということを再確認しており、少し前向きな形になっていると感じているところです。また、多くの高校生が、ゲームには関心を持っていないものの、スマートフォンは手放せない状態です。高校生と小中学生の実態の違いからも、難しい面があることは感じておりますが、「美和は、小中高一貫して取り組んでいく」という共通認識でありますので、引き続き一体的な取組を進めてまいりたいと考えております。
村尾委員 廣田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。意義あることだと思います。 ・先ほど、運動会の御説明がありましたが、中田小学校は最後の運動会ということで、最後にふさわしく、地区の住民と学校が一体となり、最後には、私を含め皆さん一緒に「中山ばやし」を踊って、すばらしい盛り上がりを見せました。地域の方にも大変感謝しております。周北小学校にも参りましたが、こちらは同じ小規模校でもまた雰囲気が随分違いまして、「たとえ一人、二人になっても、自分たちの学校は自分たちで守るんだ」ということで、警察の派出所の御家族から関係機関から家族総出で、運動会を盛り上げていたのがとても印象的でした。地域住民の熱い思いを感じたところでございま

	<p>す。</p> <p>村尾委員もおっしゃられた「みわ週間」のことですが、本当に詳しいデータ集計をしておられまして、大変でございました。現場に居た者の立場から申しますと、月曜日からずっとタイムスケジュールのようになっているのが少し複雑すぎる印象がございます。学力の向上、生活習慣の確立ということで、家庭学習の時間を確保するために取り組まれてこられたわけですから、校長会や生徒指導部会、PTAの会合などの折に、取組の目的を強調されると、その価値づけができると思います。</p> <p>文化財保護課にお尋ねします。岩国の歴史を知るということで、パンフレットを作って、地域や関係機関、外から来られた方に発信をおられますか、とても良くできていると思います。子供たちに身近に岩国の歴史や偉人を知ってほしいということで、以前、学芸員の派遣のことなどをお話ししました。私自身も折に触れて校長先生等にお願いしているところですが、派遣の実態について、状況を御報告していただけたらと思います。</p> <p>文化財保護課長</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校には積極的に出向いております。鳥取市との姉妹都市提携記念事業の関係で岩国商業高等学校に出向く機会がございました。また、市内の実績ではありませんが、県の文化振興の事業で他の市町に出かけて行くということもございました。逆に、他市町の博物館等の職員が市内の学校等に来られてお話をされることがありますので、市内外に限らず、積極的に御相談をいただければ、職員の派遣や講師の御紹介ができると思います。 <p>廣田委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ありがとうございます。学芸員の方の専門的な知識を活用していただきたいと思います。専門家が講師になるということは、子供たちがさらに歴史や郷土を好きになるということにつながります。気軽に派遣してくださるということですので、現場にもこのことを浸透させていきたいと考えております。 <p>佐倉委員</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習課からも報告がありましたが、岩国市は「学校とともにある地域づくり、地域とともにある学校づくり」として、コミュニティ・スクールと地域教育ネット、学校教育と社会教育の両輪で進めておりますが、これは4年前に私が教育長になって間もない頃に、いろいろ議論して方向性を決めて始めたスタイルです。すぐに結果は出ませんので、4年後、5年後を見てくださいと申し上げてまいりましたが、今、ちょうどそれが実りつつある状況です。 <p>岩国の目標は、中学校区どこでも同じ水準であることですが、川下中学校や美和中学校などは本当にすばらしい状況です。他の地区も取組が始まり、私たちの趣旨が浸透しつつあると感じています。一番申し上げたいのは、学校づくりはまちづくりと一体とななければ</p>
--	---

ばいけないということです。特に皆様方の御協力やアドバイスなどの様々な関わりがとても重要になってまいります。今後活動を広げていく中では、若者の関わり方も鍵になると考えております。いずれにしましても、皆様には、これまでどおりの支援をお願いしたいと思います。

歴史や文化と学校や子供たちとの関わりについて、少し申し上げます。岩国の子供を岩国で育てていく中で、吉川の歴史や錦帯橋のことを探ることは大きな広がりにつながります。

先般、岩国中学校が、京都・奈良への修学旅行の際に、自作の英語のチラシを外国人旅行者に渡し、英語でスピーチをする取組を実施しました。「自分の英語がいくらかは通じて、外国のおじいさん、おばあさんが、宮島までの予定であるのを『錦帯橋まで足を延ばしてみよう。』と言ってくれて非常にうれしかった。」という生徒のコメントも新聞で紹介されております。

自分たちのまちについて、他人に説明しようと思えば、まず自分がまちの歴史を知る必要があります。そして、歴史を学ぶことは、例えば、吉川経家と鳥取城の攻防、岩国市と鳥取市がなぜ関係あるのかということなど様々な事柄に広がってまいります。

また、吉川重吉は、岩倉具視の使節団に同行し、伊藤博文や大久保利通、津田梅子と一緒に海を渡っています。当時、吉川家の次男を海外に行かせたということが吉川家のすごさであり、吉川家の教訓の中にも、今後の道徳教育を進めていく上で非常に良いヒントがあるように思います。岩国の教育基本計画の基本目標「志高く 豊かな心と生き抜く力を育む」の志というのは武士（士）の心と書きます。そうした心をどのように育み、グローバル化や国際化の中でどのようにいかせるかということがとても大切で、全ての要であると考えます。

村尾委員

・学校教育課の通学区域の弾力化についてですが、調整の難しい問題もありますので、慎重に対応していただきたいと思います。

例えば、区域外の学校の方が距離的に近い場合があります。具体的に申し上げると、大正橋の根元、白崎八幡宮付近は麻里布小学校区で、麻里布小学校までの距離は 1.5 キロメートルくらいです。一方、大正橋を渡った対岸にある川下小学校までの距離は 300 メートル程度です。こうした利便性のことを考えると収拾がつかなくなります。また、団地の立地状況などから、保護者の方が校区を勘違いされ、実際の校区を知ったときに困惑する事例もあります。

個人的には、体力的に弱い小学校低学年については、暫定的措置としての就学学校の変更ということを配慮する必要があるのではないかと考えますが、デリケートな面がありますので、慎重に検討して

	<p>いかなければなりません。いずれにしても、みんなに分かりやすい形で進めていくことが大切と考えますので、しっかり協議を進めていただきたいと思います。</p> <p>・最後に私の方から良い話を一つ申し上げます。昨日、じゃげな会の方から、「麻里布小学校の5年生に郷土料理を教えに行ったときに、とても子供が良かった。今までの中で一番良かった。」と、お褒めの言葉をいただきました。そして、「子供の対応や取り組む姿勢、目つきも全然違う。なぜでしょうか。」と尋ねられましたので、「先生方や携わっている地域の方々の教育が良いのではないですか。」とお答えしました。</p> <p>今、小学校でも郷土学習を進めたり、地域の人が関わったりする機会が多くなっています。教科の勉強だけではなくて、幅広く教育に取り組んでいく姿勢が十分伝わって、子供たちに表れたのではないかと思います。ですから、今一生懸命取り組んでいる事が、徐々に形になっていざ表に出てくるということを楽しみにして、今後も教育行政を頑張っていきたいと思っています。</p> <p>それから、文化財保護課の企画展のパンフレットがとても良くできていると思います。館内の展示もすばらしいのですが、DVDのコーナーもありまして、6分程度の切り絵の映像が流れて漫画で説明されているもので、これがまた感動的です。私が紹介して御覧になった人も、鳥取市と岩国市が交流している理由が初めて分かったとおっしゃっていました。市民の方は、意外と知らないことが多いと思いますので、地道な活動を続けて外部に情報発信していくとともに、そのために必要な予算は積極的に声を出して要求していただきたいと思います。</p> <p>・先生方の指導と地域の方のおかげで、コミュニティ・スクールが非常に活性化し、現場でも様々な取組が行われています。コミュニティ・スクールの整備が進むにつれ、集会の輪や回数も広がり、地域の人の集う場所の確保も必要となってきております。このことについて、以前、現存の校舎の中で何か工夫があるだろうかと問い合わせをいたしましたが、何かありましたでしょうか。</p> <p>・通津小学校については、鍵の数を増やし、事前の申込みによって鍵を貸与するという対応を始めまして、図工室を解放できるようになりました。</p> <p>・現場は困っておりますので、ハード面がそろわないために催し事がなくなることがないように、いろんな知恵を出して対応していただきたいと思います。</p> <p>・学校について御意見をいただくことがございますが、そのようなときには、是非、「学校に行って子供たちの活動の実態を見てください</p>
西村委員長	
廣田委員	
学校教育課長	
廣田委員	
佐倉委員	

	<p>い。」と言っていただきたいと思います。実際に見ていただき、御意見していただきすることが、地域とともにある学校づくり、開かれた学校づくりにつながります。教師の頑張る姿が見えてまいりますし、子供たちも地域の人から見守られていることを感じ、プラスの相乗効果が生まれると考えております。苦情などがあったときには、自信を持ってはっきりおっしゃってください。よろしくお願ひします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の日程は以上でございます。それでは、次の委員会の日程について教育政策課からお願ひいたします。 ・次回は委員長の任期満了に伴いまして、6月28日（日）午前10時から教育長室で行います。これにつきましては委員さん方と事務局のみで行います。 <p>第9回の教育委員会会議については、7月21日（火）午後2時から6階の議会会議室で開催いたします。よろしくお願ひいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ではこれをもちまして、平成27年第7回教育委員会会議を終了します。
西村委員長	
教育政策課長	

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則（平成27年教育委員会規則第1号）附則第3項の規定によりなおその効力を有するとされる同規則による改正前の岩国市教育委員会会議規則第18条の規定により署名する。

教育委員長

印

教育委員（村尾）

印

教育委員（佐倉）

印